

国際化に向けて 英語をしっかりと勉強します



こやま すぐる
柏木町/小山 俊さん
(西陵中学校2年)
※写真の一番上

僕は、2003年の8月10日から20日まで、平成15年度登別市中学生海外派遣団の一員としてデンマークに行ってきました。そこで日本とデンマークのいろいろな違いを知りました。

僕が一番すごいと思ったことは、中学生が母国語のほかに英語やドイツ語を勉強していることです。日本の中学生も英語を勉強していますが、会話をできる人は多くはないでしょう。デンマークの入りとは、自分たちだけの会話ではデンマーク語しか使いませんが、僕たちのような、ちょっとした英語しか知らない人たちには、やさしい英語を使ってくれて、とても助かりました。

日本もこれからどんどん国際化が進んでいきます。そうすると、たくさんの国の人が日本に来て、いろいろな言葉が必要になると思います。

だから、僕もまずは英語をしっかりと勉強していきたいと思います。

今年も副委員長の大役に頑張ります！

「まちづくり基本条例検討委員会：！」どうも堅いイメージ？の会議に参加して半年が過ぎた。

37人での全体会議が月1回程度、各班のワーキングが月1・2回程度、運営委員会が月1・2回程度、けっこう暇のない会議を行っている。白紙からはじまった条例づくり、試行錯誤しながらも、なかなか前に進まない状況も度々あったが、何とか形が見えてきたように思う。「条例：？」登別市の憲法をつくるようなものであるから、少々難しくても当たり前。結構、自分のまちづくりに対する思いや意見を言えることが楽しく感じられることもある。条例づくりに参加しながら、あらためてまちづくりの必要性和大切さを考えさせられる。

委員のみなさんのまちづくりに関しての思いと熱意がたくさんの意見となって集約されてきている。この条例を通じて、もっと多くの市民のみなさんがまちづくりに参加し、この登別市をつくっていきませんか？

今年も副委員長の大役に頑張ろうと思う。

(柏木町/羽澤純男さん・登別市まちづくり基本条例検討委員会副委員長)

2004年の私 フリーフリー！

2003年の私を言うと、春には5月5日から7日まで、女友達4人で飛騨高山や金沢方面へツアーの旅をしてきた。本当にいい所へ行き、いろいろこの目で見て聞いて、あまり知らなかったことな

どがわかり、うれしく勉強になったと満足して、その余韻が頭の中心に残っている。

若いころはパート勤めや子育てに忙しく、日々暮らして60代になってやっとやってみよう、行ってみたい所が出てきて、思ったことは、今しかない。80代ではおそい、70代も半分余りの人が持病を抱え、足や腰が痛いのでという話を聞かされる。

そんなになつてからはおそいので、私はこれからばりばり動くときは動き歩き、ひとつでも多くの日本の景色や歴史を訪ね勉強し、せいぜいばけないう、元気で人生を送りたいと思う。

そしてまた、好きなカラオケもしたい、一日一日を大事に急がずに暮らそう。2004年の私フリーフリー！

(富士町/山田満智子さん)

10

月



柏木配水池通水式 (10月27日)

9

月



知里幸恵生誕100年記念フォーラム (9月13日～15日)

2003年を振り返って ⑦